

報道関係者各位

 株式会社 DC ASIA
 シュナイダーエレクトリック

DC ASIA とシュナイダーエレクトリック、 エッジコンピューティング向け空調機で販売・保守パートナー契約を締結

- 日本未発売の空調機「InRow SC」を DC ASIA が日本先行販売
- 室外機が不要なため、大幅な改修工事が不要
- ラックと並べて配列できる InRow SC は、小規模サーバールームを効率的に冷却可能
- 冷却能力 4.5~5.3kW *戻り空気温度 26.7°Cのとき

DC ASIA とシュナイダーエレクトリックは、シュナイダーエレクトリックの小規模サーバールーム向けの局所空調機 「InRow SC」に関する販売・保守パートナー契約を締結し、4月1日より販売を開始します。

「InRow SC」は、データセンターやサーバールームの IT ラック列内に組み込む局所冷却「InRow」シリーズの中でも、ラック 1-10 本程度の小規模サーバールームに適した冷却能力を備えたモデルです。室外機が不要なため、配管工事など既存サーバールームの大幅な改修工事をおこなうことなく、熱だまりの解消や空調効率の改善が可能です。

昨今の IoT や AI などの発展によりデータ活用が進むなか、通信の遅延や情報セキュリティの観点から、利用者やデータ発生端末の近くでデータ処理を行う「エッジコンピューティング」の重要性が再認識されています。その、「エッジコンピューティング」のシステムが設置されるサーバールームでの需要を見込み、このたび、DC ASIA が「InRow SC」を日本国内で先行して販売することとなりました。

今回のパートナー契約を機に、DC ASIA とシュナイダーエレクトリックは両社の知見をいかし、サーバールームの安定運用、エネルギー効率化、運営効率化に貢献します。

DC ASIA は、オフィス移転を計画されている企業や、クラウド化が進んでラックの統合や整理を計画する企業などを対象に初年度 50 台の販売を目指します。



株式会社 DC ASIA について

株式会社 DC ASIA は、Green IT 事業とデータセンター教育事業を専門とした会社であり、ニスコム株式会社の子会社です。DC ASIA は、企業のサーバールームから大型データセンターやスーパーコンピューターの稼働を支えるファシリティインフラである電源や冷却に関するソリューション提供や、監視管理や運用管理を支える DCIM (Data Center Infrastructure Management) の日本屈指のソリューションプロバイダです。

シュナイダーエレクトリックについて

シュナイダーエレクトリックは、ビル、データセンター、電力インフラ、工場に向けたエネルギー管理とオートメーションの「デジタルトランスフォーメーション」を推進しています。世界 100 カ国以上で事業を展開し、低・高電圧およびセキュアパワーのエネルギー管理とオートメーションシステムの分野で名実ともに業界のリーダーです。エネルギー、オートメーション、ソフトウェアを組み合わせ、統合された効率化システムを提供します。

本製品に関するお問い合わせ先

株式会社 DC ASIA、03-6362-6990、info@dcasia-ltd.com

報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 DC ASIA、03-6362-6990、info@dcasia-ltd.com
 シュナイダーエレクトリック、広報担当、金光(かなみつ) Mayumi.Kanamitsu@se.com